

NPO法人ありんこに
関する詳しい情報は
公式ホームページ
arinnko.sakura.ne.jp
にて公開中!!

ありんこだより

発行 NPO法人ありんこ編集部
編集責任者 一戸 由佳
住所 青森県弘前市大字富栄
字笹崎80-1
電話 0172-96-2774
Fax 0172-55-9591

第1回 やよあかあーとコンテスト

「ありんこだより」5月号でもお知らせしました「アマビエめぐりえ」に沢山のご参加をいただきありがとうございました。「やよいのあかり」利用者の皆様はもちろん、会員の皆様、保護者やご兄弟の皆様にもご参加をいただきました。厳正なる審査の結果、以下の3賞が決定しました。おめでとうございます。

**アマビエめぐりえ
コンテスト**

疫病退散!!

妖怪アマビエ

銀賞

金賞

銅賞

このたび、NPO法人ありんこの弔慰金規定を定めましたのでお知らせいたします。なお、本規定は運用上令和2年6月1日より施行するものといたしますが、来年の法人理事会、定期総会にて会員の皆様にお諮りし、正式に規定することといたしますのでご了承ください。

NPO法人ありんこ弔慰金規定

- (目的) この規定は、特定非営利活動法人ありんこ会員の弔事に際し支給する弔慰金について定めたものである。
- (適応範囲) この規定は特定非営利活動法人ありんこの理事及び監事、理事以外の正会員、賛助会員、寄付会員について適応する。これ以外の範囲についてはその都度定めるものとする。

弔慰金

会員が死亡した場合には、遺族に対して弔慰金を香典として支給する。供花、弔電については以下の通りとする。

理事・監事	10,000円及び供花、弔電
正会員	5,000円及び弔電
賛助会員	3,000円
寄付会員	寄付額10,000円以上 5,000円及び弔電
	寄付額10,000円未満 3,000円

わたしのおススメ 事務 成田 ひとみ

弘前れんが倉庫美術館

弘前市民に向けたプレオープンに、予約をして出かけました。全体的にゆったりとしていて良い雰囲気。通称「ひろさき犬」にも会ってきました。弘前の街並みを古い布で表現した作品(下の写真)がとてもかわいらしかったです。(グランドオープンは7月11日(土)の予定です。)



理事長のつぶやき

「敢えていばらの道を」

毎度新型コロナウイルス関連の話でつぶやくことをお許しいただきたいと前置きの上で。

日本全体では非常事態宣言は解除され、他県をまたぐ移動も事実上は自由になった。けれど、日常生活にはまだ不自由さが残る日々である。

そんな中、ふと感じたのは不自由な環境の中での「妙な楽しさ」である。

休日、いつもなら月に1,2回は車椅子の娘を連れてどこに行こうかと考える。

その外出はなかなか準備が大変だ。食事場所やトイレの確保など、移動時間も含めて1日の大まかな流れを組んで動かなくてはならない。

それが3月からなくなった。「ステイホーム」なのだから、家にいることが正解だ。その意識のまま6月も終わろうとしていた。外出のない休日は、正直とても楽である。

社会活動が再開した世の中もそうなのかもしれない。「安易に」とは言わないが、「できるかどうか検討もしないで、コロナだからやめておこう」ということがまかり通ってはならないと思う。

目の前に2つの道があれば、私は楽な方ではなく大変な方の道を選ぶことができる人間でありたい。

もちろんリスクは考えなければならない。しかし、いばらの道でも進んだ先に得られるものもあると思うから。

現在の感染状況を考えたときに、この先は少し考えをシフトして、「できるかできないか」だけでなく「やるかやらないか」を考えてもよいのかもしれない。

尊敬する「相田みつを」の作品に「やれなかった やらなかつた どっちかな」という言葉がある。今でも私は1日の終わりにこの言葉を考えるのである。